

平成22年度

第1回 作手地域審議会

平成22年6月6日

新城市作手総合支所 第一会議室

10:00開会

・会長あいさつ
会長

議題 (1) 平成22年度新城市めざせ明日のまちづくり事業審査

事務局 審査等について事前確認

事務局 それでは作手自然愛好会の方から説明をしていただきますのでお願いいたします。

(作手自然愛好会入室)

会長 それでは大変御苦労さまです。概要を説明してください。

愛好会 ・作手自然愛好会 (以下、愛好会)
・申請内容について説明 (8分間)

会長 ありがとうございます。詳しく説明をしていただきました。それではどなたからでも結構です。質問がありましたらお願いをいたします。

委員 質問の第1ですが、予算のところでバックホウを借りられてやっていくということで、大きな金額のところは杭の材料費。バックホウで作業をされる方の安全の心配があります。経験された方がやられるのですか。

愛好会 経験者もおりますのでその点は大丈夫です。バックホウと言いましても、おもちゃみたいなミニのバックホウでございますので大丈夫です。

委員 それだけが心配でしたので、安全第一でお願いします。

委員 湿原の乾燥化が顕著になったとありますが、深刻の度合いはどのくらいなのでしょうか。

愛好会 今、愛知県でCOP10が開催されているということで、非常に環境面でも目を向けて頂き、2度ほど中日新聞の取材を受けました。向山湿原に限って言いますと、周囲の宅地造成に絡みまして、水源林がなくなったという現象が起こっています。特にみずがらという樹木……。

委員 何年後くらいにあぶないよとかいう具体的に出していただけると。

愛好会 それは分かりません。水を枯渇するだけの問題ではなく、気温、温暖化、大気の汚染とか、湿原の植物は自然の微妙なバランスの上に成り立っている植物ですので、只一つの原因だけで消滅するとかいう問題ではございませんので、予測が付きません。

委員 長年活動を続けて頂いて、大変ありがとうございました。土留めの杭を打つということで、少しでも水を確保ということでやっていかれるようですが、木杭をうつことでかなりの効果が期待できるのでしょうか。

愛好会 現地へ行っていただくとお分かりいただけると思いますが、あの湿原は東の方から傾斜をしております、入口の方に水が寄っている。少し沼地状態のところがありますが、地下への流出速度を緩めるためにもこれは必要なことだと思っています。もう一点は観察者が来られまして、安全上の問題で、先月、専門委員の方の指導がありました。この状況を放置しておくなんて考えられないとおっしゃられまして、豊田や設楽、いろいろなところで行政も含め真剣に猫の額ほどの湿原の保全をしておりますけれども、やはり、安全上の問題、写真をお見せしましたけれども、私達が作り出した木道を支えている土管が壊れてしまいまして危険な状況にあります。そうした面も含めて、環境整備がぜひ必要だと思っています。

委員 利用計画の選定理由のところ、毎年観察する人が多くなったというふうに書いてありますけれども、どのくらい、今、見えているのか分かれば教えていただきたい。例えば昨年と比較して何人増えたとか。

愛好会 統計的な数字は取っておりませんが、7月の16日には鳳来寺博物館で作手湿原の観察会を企画して50名ほどが見えますし、そうした意味で整備をしまして、特に環境省の制定ということで注目を浴びておりまして、かなり多くの方が見えます。また、そういう団体以外に親子連れの方とか、いろいろな方がみえまして、実感的には、〇〇委員さんはすぐ近くにおられるので、一番お分かりかと思いますが、当初と思うとかなり注目度は高くなってきております。

委員 作手に住んでいながら、長ノ山の湿原はよく知っていましたが、向山湿原というところがそんなに素晴らしいところだということを知りませんでした。〇〇さんから、多くの方々が関わってこの様な保護活動をしてくださるということを知ってびっくりしました。素晴らしいことだというふうに思いました。今も湿原を守っていくという動きをされているということですが、私のように、住んでいながら気がつかなかったということもありますので、できるだけPRするとか、皆にお知らせするとかいうような方策とか方法とか、広報に載せてもらおうとか、チラシを作るとか、ホームページに載せるとか、そういうような動きがあれば、もっと多くの方々に作手の自然の美しさをお知らせできるのではないかと思います、その辺はどうお考えですか。

愛好会 広報ほのかには、大切な時には紹介をさせていただいております。後は口コミです。他のところの湿地を守る会の方がおっしゃっていた言葉ですが、あまり多くの方が来られても大変だし、現実にキショウブとかいろいろな物を持ちこまれて、それを除去するのに必死です。向山湿原にしても、サギソウを持ちこまれて、サギソウなら良いのではないかとされるかもしれませんが、これが大きな間違いで、作手DNAのサギソウと他のサギソウとは違うので、全然違った種類の物になってしまって、極端な話をすれば、白い花をつけるサギソウを持ちこまれたということがありまして、あまり多くの方が来られてもということがありますが、長ノ山の湿原で市の文化課から依頼を受けまして、年間30回の見回りを実施しておりますけれども、多くの方に来ていただきたいという思いもありますが、限度を超しますと大変なことになります。そういう状況にあります。

会 長 ありがとうございます。時間も迫ってきております。今PRの話も出ておりますが、PRし過ぎると希小植物を減らす等の害を受けてしまうので、あまりPRできないところも少しあると思います。なかなか難しいところだと思います。いずれにしても、地域の大切な資源です。何とか保護が出来るようにと思っております。今日は大変ありがとうございました。

事務局 ありがとうございました。退席をお願いします。

(審査表記入)

(審査表回収)

事務局 それでは、時間になりましたので2番目の団体に入っていきます。

(戸津呂夢おこし委員会)

会 長 ご苦労さまです。それでは早速計画の説明をしてください。

- ・戸津呂夢おこし委員会（以下、戸津呂）
- ・申請内容について説明（8分間）

会 長 ご苦労さまでした。ではどなたからでも結構ですので、全体についてご質問がありましたらお願いします。

委 員 収穫祭ですが、交流という事でいいと思いますが、大体どのくらいの参加者が来るという目標を持っていただけるのか。

戸津呂 流しそうめんが100人集まりますので、100人くらい集めたいと思っています。昨日もコミュニティの役員会がございましたので、コミュニティの方へ、このような作業をやります。作業をお手伝いいただける方々、また収穫祭にもぜひ来てくださいというPRをしていくということで、今、協和も夢おこし活動ということで、各集落で1つずついいものを探そうということをやっておりますので、その企画と絡めたりしながら参加者を集めたいと思っています。それと市外へのPRをどのようにやっていこうかということはまだ考えておりませんが、今年に限らず、例えば会員制にしていくとか、オーナー制度を取るとか、色々なことを考えて、よその人がとにかく年に何回か戸津呂に遊びに来る。そういう状況を何とか作れたらということを考えています。

委 員 実施方法のところで、休耕田900㎡ですが、この土地は個人所有の土地なのか、戸津呂区全体で所有する土地なのか教えてください。

戸津呂 個人の井上さんという方が所有する土地で、公社の時代からやっていますが、その方はずっと借りていくという形です。お金はいらぬということですよ。

委 員 日頃から国道301を通りますが、戸津呂区はどこまでのエリアか分かりませんが、

あそこを通ると非常に感じが良く、ずっと上から下へ下りて行くとか、下から上へ来る時にも、あそこへいくとホッとします。よく、前のところもいろいろと手入れされて、バス停の向い側にも花を植え手入れされていたり、もみじがあつたりして、昔からやっておられたとは思いますが、非常に良いところだと思っております。今、お話をお伺いした時に、非常に若い人達が、あんなに良いところなのに何で少ないのかなと思っておりますが、今回の取り組みがされて、こういう良いとこだから、もっと若い人達が集まるといいなと思っております。ブルーベリーの場合、よく鳥にやられますから、剪定もされ、地域の方が一緒にやるということは非常に良いことだと思っております。メンバーも区の方が全員入っていることになっておりますが、夢おこし事業というのは区としての取り組みの一環ということによろしいですか。

戸津呂 夢おこし委員会というのは大人から子どもまで全部ということでやっておりますので、区の会計とは全く別会計でやっております。

委員 先程のイベントに対して事前にPRされているということでしたが、これはかなり地区限定という感じがします。逆に、この地区でこういうことをやっている、こういうことも出来る、というPRが大切になってくるのではないかと思います。

戸津呂 どの地区も同じような状況がありまして、隣の野郷でも、ある方がブルーベリーを沢山植えられているとかそういうのもありますので、ブルーベリーに限らずやっていると良いと思っております。加工まではまだまだ、施設等も必要になってくるのかなと思っておりますが、作手でも個人的にやっておられる方もみえますので、そういうところとコラボしたり、PRしていけたらと思っております。どちらにしても12軒の集落でこんなことをやっているよということを、どんどん発信して、他地区への発起になるかと思っております。

委員 12軒でこれだけのことをやるのはすごい事ですね。

委員 めげせ明日のまちづくり事業は単年度で済んでしまいますが、夢おこし委員会という素晴らしい委員会があります。そういうところでこの事業をやっているというのが、国道を通る人がみなさん見られます。草が生えて手入れが大変だとも思います。今回の事業ができれば、あの場所に看板を付けて欲しいと思っております。夢おこし事業の一環でやっていますよ、みんなで楽しんでいますよというような。こんな風に素晴らしくやっているのだというのが、メインストリートなので戸津呂から作手の人達にどんどん広がっていくのではないかとと思うので、看板はぜひ付けて欲しいと思っております。

戸津呂 前に、農協さんが大きな看板を戸津呂に立てたことがありまして、お願いをして取っていただいたということがあります。戸津呂はどこの家も上から見渡せるという非常におもしろいところがございます、それを周回するように道路があるということで、非常に景観が良いところなので、その景観を常にきれいにしたいということで、バス停等も始まっています。変な大きな看板では難しいところがありますが、バス停で車を停めて休憩される方もみえますので、そういう方にも見てもらえるようなものを考えていきたいと思っております。

会 長 それでは時間です。ありがとうございました。

(審査表記入)

(審査表回収)

事務局 以上で審査は終わります。

会 長 それでは、めざまちの審査の方は終わりにしたいと思います。ありがとうございました。

10 : 45 閉会